



# 末吉小だより

横浜市立末吉小学校  
学校だより

令和5年1月号

## 人とのつながり

校長 高山 和宣

新年が明けました。皆様には、穏やかな天候の中、よい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、昨年も末吉小学校の子どもたちを温かく見守っていただいたことに心より感謝申し上げます。

さて、今年の干支はうさぎの年、卯の年です。漢字の「卯」は、門を押しあけて中に入りこむ様子を表しているそうです。中国の『漢書 律曆志』では、「おおう」ということを意味する言葉で、草木が伸び出て地面を覆うようになった状態を表すと言われています。また、「卯（うさぎ）」は跳びはねることから、飛躍するということにもつながります。

今年も末吉小の子どもたちが、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなるように、大きく大きく成長する年にして欲しいと思っています。

毎年、新年に行われる様々なスポーツイベントに注目が集まりますが、「駅伝」もその中の一つです。今年は駒澤大学の2年ぶり8回目の総合優勝で幕を閉じましたが、そのテレビ中継を見ていて、出場したすべての大学も、とても頑張っているなぁと感じて見ていました。

「駅伝」はたすきを人から人につないでいく競技です。いつもこの「最後までつなぐ」ことがどれだけたいへんなことなのかと感じます。何人かで行うのですから、一人でも体調不良の人がいればそこで途切れます。体調が良くても、長距離を走るということは決して楽なことではありません。コースも上り坂や風の強いところなどがあり厳しい道のりです。一人ひとりが自分との戦いをしていることでしょう。走り抜けないと次の選手にたすきが渡りません。時間という制約があればつなぐことに一層の難しさが加わります。

私は、一人ひとりが、そしてチームで一丸となって次の人にたすきをつなぐ姿に感動を覚え、前向きなエネルギーをもらいます。こうやって私たちも人とつながって、様々な問題を乗り越えていけることや、一人では果たせない夢も仲間とならば叶えられる、そして、その喜びをさらに大きくすることができることを改めて感じるからだと思います。

一方、このところ急激な社会の変化を感じる事が多く、特に情報網や交通手段の飛躍的な発達で世界が変わってきていることを実感しています。

世界中の名も知らぬ、行ったこともない土地で起こった出来事があつという間に身近な情報として私たちの所まで届きます。どこかの国で新しい感染症が発生したとニュースが流れると、空港等は直ぐにその対応を求められますし、その情報によって人の動きも大きく変わっていきます。

軽はずみに撮影した画像や書き込んだ文章をインターネットに載せれば、本人の意図とは別に、多くの見も知らぬ人に拡散し、人を傷つけ自分も思いもよらぬ被害を受けることさえあります。私が育った時代にはとても考えられないことでした。

かつては、私たちは直接人と会ってその人と交流し、情報を得たり、自分の考えと比較したりして考えを深めてきました。また、知りたいことがあれば、自分の足を運び、自分の目で見て確かめてきたものです。そうすることによって、本物の体験を行い、自分なりに事実をつかみ、自分なりの考えを生み出し、想いも醸成してきたのだと思います。

人との直接的なコミュニケーションが減ってくると言われるこれからの時代を生きる子どもたちには、直接人と触れ合い、自分の心と体を動かして、実体験したことをもとに自分で考え、判断することや、他者の大切さを感じながら人とつながって何かを為すことの素晴らしさを感じて欲しいと考えています。